

北京の病院八割で老人専用グリーンチャネル受付設置に

網易健康

jiankang.163.com 2016-12-23

12:05:52 来源: 北青网-北京青年报(北京)

老人の受付や診察などにより便利なサービスとなる『グリーンチャネル(空港税関の『無税申告レーン』のようなものです)』が全ての医療機構で開設され、養老施設などでも居住老人に様々な形で医療衛生サービスが受けられるようになる



北京青年報記者は、昨日、首都の窗ホームページから、市衛計委や市民政局など多部門が共同で『医療衛生並びに養老サービスの結合を推進することに関する実施意見』を發布し、51項目に渡る医・養結合のための重点活動が明確化された。たとえば、北京市では来年度に医療機構の八割以上で老人専用の受付グリーンチャネルを設け、養老機構の95%以上では様々な形で老人に対する医療衛生サービスが提供されることになり、条件を満足していれば、規定に基づき基本医療保険の定点範囲に組み入れられることになると聞き及んだ。

『意見』では、医・養を結合する二つのステップが明確化されている。2017年までに、北京市は医療衛生及び養老サービスの資格と能力を要する医療衛生機構或いは養老機構(以下、『医・養結合機構』と略)を設立、末端の医療衛生機構が住民の高齢者や重病人、身体障害者、一部の介護老人などにオンサイトでのサービス提供レベルを向上させる。継続して受付予約と分級診療を推進し、80%以上の医療機構では老人の受付や診察などに便利なグリーンチャネルを設け、95%以上の養老機構では様々な形式で老人に対する医療衛生サービスを提供することで、老人の健康養老サービスのアクセシビリティが明確に改善される。

2020年までに、家庭医は努力して北京市に常住する全老人へのサービスをするという契約に署名し、老人の健康管理率が70%に達するようにする。各区の介護用ベッドを千人あたり0.5床とし、介護老人などへのサービス用ベッド数を養老総床数の70%としてゆく。全ての医療機構は老人により便利に受付や診察を提供するためのグリーンチャネルを設け、全ての養老機構は、入居老人に様々な形式で医療衛生サービスを提供し、高齢者健康養老サービスのニーズに基本的に適応してゆく。

上述目標の実現のため、『意見』では、更に10の大項目、51の小項目にわたる医・養結合の重点活動の明確化がなされた。北京市衛計委は、養老ニーズの総合評価を展開し、各区で少なくとも医療機構1ヶ所をその中心に設置する。末端医療機構は家庭医とのサービス契約を推進し、家庭高齢者、重病人、身体障害及び一部機能障害の老人に対する定期診断や巡回訪問診療、家庭ベッド、社区(コミュニティ)看護などのサービスを行い、発生した医療費薬剤費は規定に基づいて医療保険支払いの範囲に組み入れる。『北京通一養老身障者カード』や『北京通一身体障害者サービス多機能クレジットカード』が医療サービス費用の支払いに使うことができるようになる。このほか、看護師をもっと働かせ、ナースステーションで在宅看護サービスの展開をできるように社会を激励する。家庭医療看護のサービス項目やサービス内容、価格基準を規範化する。

ハイライト

公立病院で終末期医療を展開

現有の老人サービス医療リソースを再活性化し、リソースの利用率が比較的低い医療機構はリハビリ医院や介護施設、終末期医療機構に代えて行く。市の衛計委は、(中医医院を含む)総合病院を強化してリハビリ科を設置し、三級医院(宮本注:中国では三級医院が最上位に位置し、更に甲乙丙の等に三分されるので、『三級甲等医院(俗称は三甲医院)』が最高レベルの医療機関ということになります)の全てにリ

ハビリ科を設置する。

条件が合致する医療機構においては、サービス・ニーズをもとに老人の介護や終末期医療を増設する。

北京青年報記者は、市衛計委は次に基礎が比較的良く、積極的な公立医療機関を選んで終末期のサービスを展開させ、資金のサポートも行うと同時に条件の整っている養老機構には終末期医療サービスを展開させる。老人のリハビリや介護、終末期のサービスの基本水準と規範を改善し、リハビリ患者の委託基準を改善し、委託のフロー規範をよりよいものにする。

200 床以上の養老院は医療機構を設置すること

『意見』では、養老機構内にある医療機構の建設強化を指摘している。養老機構はサービスのニーズと自らの能力に基づき、関連規定に基づき医療機構の開設を申請することが可能で、医務室或いはナースステーションを設置することも可能で、基本医療サービス能力を向上させる。うち、新たに 200 床以上のベッドを設置する養老機構では、医療機構の内部設置に協力しなければならない。条件が合致すれば、規定に基づき、基本医療保険定点の範囲に組み入れることが可能になる。

このほか、半身麻痺の総合リハビリや認知機能リハビリ、日常生活能力評価など医療リハビリ項目を基本医療保障の範囲に組み込み、身体障害者や部分障害の老人の治療性リハビリをそれなりに保障する。

(記者：張小妹)

<http://jiankang.163.com/16/1223/12/C8VI2TMQ0038804U.html>

..... 以下は中国語原文

北京八成医院老人挂号将享绿色通道

网易健康

jiankang.163.com 2016-12-23

12:05:52 来源：北青网-北京青年报(北京)

所有医疗机构开设为老年人提供挂号、就医等便利服务的绿色通道，所有养老机构能够以不同形式为入住老年人提供医疗卫生服务。

北京青年报记者昨日从首都之窗网站获悉，市卫计委、市民政局等多部门联合发布《关于推进医疗卫生与养老服务相结合的实施意见》，明确了 51 项医养结合重点工作，如本市明年八成以上医疗机构将开设为老人挂号的绿色通道，95%以上的养老机构应当以不同形式为老人提供医疗卫生服务，满足条件可按规定纳入基本医疗保险定点范围。

《意见》明确了医养结合的两个阶段性目标。到 2017 年本市应当建成一批兼具医疗卫生和养老服务资质与能力的医疗卫生机构或养老机构（以下统称医养结合机构），提升基层医疗卫生机构为居家高龄、重病、失能及部分失能老年人提供上门服务的能力。继续推行预约挂号和分级诊疗，80%以上的医疗机构开设为老年人提供挂号、就医等便利服务的绿色通道，95%以上的养老机构能够以不同形式为入住老年人提供医疗卫生服务，老年人健康养老服务可及性明显提升。

到 2020 年，家庭医生签约服务力争覆盖到本市常住老年人群，老年人健康管理率达到 70%，各区每千常住人口康复护理床位数达到 0.5 张，为失能老年人等服务的护养型床位数达到养老总床位数的 70%。所有医疗机构开设为老年人提供挂号、就医等便利服务的绿色通道，所有养老机构能够以不同形式为入住老年人提供医疗卫生服务，基本适应老年人健康养老服务需求。

为实现上述目标，《意见》还明确了 10 大项 51 小项医养结合重点工作。市卫计委将开展养老需求综合评估，各区至少 1 家医疗机构设置该中心。基层医疗机构通过开展家庭医生签约服务，为居家高龄、重病、失能及部分失能老年人提供定期体检、上门巡诊、家庭病床、社区护理等服务，发生的医药费用按规定纳入医保支付范围。“北京通一养老助残卡”、“北京通一残疾人服务一卡通”可用于支付医疗服务费用。此外，探索护士多点执业，鼓励社会办护理站开展居家护理服务。规范居家医疗护理服务项目、服务内容和价格标准。

亮点

公立医院将开展临终关怀

盘活现有为老服务医疗资源，把资源利用率较低的医疗机构转型为康复医院、护理院、临终关怀机构。市卫计委表示，将加强综合医院（含中医医院）康复医学科建设，三级医院全部设置康复医学科。有条件的医疗机构可根据服务需求增设老年养护、临终关怀病床。

北青报记者了解到，接下来市卫计委将选取一批基础较好、有积极性的公立医疗机构开展临终关怀服务，并适当给予资金支持，同时在有条件的养老机构开展临终关怀服务。完善老年康复、护理、临终关怀服务的基本标准和规范，完善康复患者转诊标准，优化规范转诊流程。

200 张以上床位养老院应设医疗机构

《意见》指出，加强养老机构内设医疗机构建设。养老机构可根据服务需求和自身能力，按照相关规定申请开办医疗机构，也可内设医务室或护理站，提高基本医疗服务能力。其中，新建 200 张及以上床位的养老机构，应建设配套的内设医疗机构，符合条件的可按规定纳入基本医疗保险定点范围。

此外，还将把偏瘫肢体综合训练、认知知觉功能康复训练、日常生活能力评定等医疗康复项目纳入基本医疗保障范围，为失能、部分失能老年人治疗性康复提供相应保障。（记者 张小妹）